

## 公益財団法人慶長遣欧使節船協会

- (1) 情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）
- (2) 情報公開シートⅡ（財務諸表等）
- (3) 情報公開シートⅡの補足資料
- (4) 市が期待する役割、市意見等

# 第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日	令和 4 年 6 月 13 日
-------	-----------------

市所管部署	石巻市 産業部観光課
-------	------------

2 法人名称等

法人名称	公益財団法人慶長遣欧使節船協会
法人所在地	石巻市 渡波字大森30番地2
設立年月日	平成 4 年 1 月 22 日
代表者職・氏名	代表理事 一力 雅彦

設立目的・経過	慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的実績並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供することにより、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与すること。
---------	---

3 定款上の事業内容

- (1) 慶長遣欧使節、船舶及び海洋に関する調査研究
- (2) 慶長遣欧使節に関する資料の収集・展示
- (3) 船舶及び海洋に関する資料の収集・展示
- (4) 海事思想の普及・啓蒙
- (5) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産 総額	石巻市 出資・出捐額	石巻市 出資・出捐割合	市以外の 出資・出捐者	市以外の者の 出資・出捐額	市以外の者の 出資・出捐割合
1,000,000 千円	500,000 千円	50.0 %	宮城県	500,000 千円	50.0 %
				千円	0.0 %
				千円	0.0 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員状況

	R1期末	R2期末	R3期末
常勤	0	0	0
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	11	11	11
うち市職員	1	1	2
うち市退職者	1	1	0
計	11	11	11
うち市職員	1	1	2
うち市退職者	1	1	0

(2) 職員状況

	R1期末	R2期末	R3期末
常勤	10	10	10
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1
非常勤	8	9	9
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	1	1
計	18	19	19
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	2	2

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的実績並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供する事より、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与する事を目的とする。 ①慶長遣欧使節、船舶及び海洋に関する調査研究 ②慶長遣欧使節に関する資料の収集・展示 ③船舶及び海洋に関する資料の収集・展示 ④海事思想の普及・啓蒙 ⑤宮城県の指定を受けて行う慶長遣欧使節船ミュージアムの管理運営 ⑥石巻市の指定を受けて行うサン・ファン・パウティスタパークの管理運営 ⑦その他この法人の目的を達成するために必要な事項
--

## 第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

### 7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		令和2年度期	令和3年度期	令和4年度期	令和5年度期	令和6年度期
慶長遣欧使節船 ミュージアム入館 料	円	目標 計画	7,220,000	5,350,000	1,980,000	0	未定
		実績	5,383,400	3,491,350	/	/	/
目標・指標の説明		前年に続き、復元船の乗船見学中止(H28～)や新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言等による臨時休館や各事業の規模縮小したが、入館者確保のため例年どおり企画展・絵画コンクールなどを通常開催し、出帆記念祭・シンポジウム・サン・ファン祭りについてはオンラインで開催した。また、令和6年度のリニューアルオープンに向け、館内事業の枠を超えて地域文化・観光振興に歴史・文化の分野から貢献できるようソフト事業を幅広く展開する。					
目標未達の場合の要因分析		新型コロナウイルス感染症の影響や自動火災報知設備更新工事により、臨時休館及び事業規模縮小等を余儀なくされ、来館者及び入館料が減少した。					

目標項目・指標	単位		令和2年度期	令和3年度期	令和4年度期	令和5年度期	令和6年度期
慶長遣欧使節船 ミュージアム入館 者	人	目標 計画	35,000	30,000	9,000	0	未定
		実績	27,291	14,234	/	/	/
目標・指標の説明		前年に続き、復元船の乗船見学中止(H28～)や新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言等による臨時休館や各事業の規模縮小したが、入館者確保のため例年どおり企画展・絵画コンクールなどを通常開催し、出帆記念祭・シンポジウム・サン・ファン祭りについてはオンラインで開催した。また、令和6年度のリニューアルオープンに向け、館内事業の枠を超えて地域文化・観光振興に歴史・文化の分野から貢献できるようソフト事業を幅広く展開する。					
目標未達の場合の要因分析		新型コロナウイルス感染症の影響や自動火災報知設備更新工事により、臨時休館及び事業規模縮小等を余儀なくされ、来館者が減少した。					

### 8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
①サン・ファン祭り ②サン・ファン・イルミネーション ③出帆記念イベント ④市民団体による各種イベントの実施 ⑤復元船サン・ファン・パウティスタメモリアルライトアップ	①例年は5月に開催したイベントであったが、新型コロナウイルス感染症の影響により10月に延期し、出帆記念祭と合同でオンラインで開催した。 ②11月1日から翌年1月31日までイルミネーションを行い、期間中の来場者数は15,634名で夜間来場者数は2,774名となった。 ③新型コロナウイルス感染症の影響により、例年開催される「出帆記念祭」は「出帆記念文化祭」として10月31日からオンラインで開催し、特別展の見どころ紹介や現地企画として実施した。 ④石巻JC企画として「ウッドレジンワークショップ」を行い多くの親子が参加した。 ⑤復元船ライトアップをもう一度見たいという多くの皆様からの要望で、7～8月の約1か月間、感謝の想いを込めてライトアップを実施した。	新型コロナウイルス感染症の影響により事業規模を縮小し、例年11月に開催している「出帆記念祭」を「出帆記念文化祭」として「サン・ファン祭り」・「シンポジウム」と合同で行いオンラインで開催した。また、東日本大震災より10年目の節目として石巻JCとの共催により花火を打ち上げた。復元船の展示終了に伴い、例年11月から1月に開催しているイルミネーションはサン・ファン・イルミネーション in Parkとして開催した。上記のイベント等を行い多くの来場者に慶長遣欧使節の意義とサン・ファン・パウティスタ号のPRに努めた。	①新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 ②11月から翌年の1月末までイルミネーションを行い、夜間来場者数は18,344名、また12月の土日の夜間特別開館では、来館者数は3,172名となった。 ③慶長遣欧使節帰国400年記念として出帆記念祭を開催し、伊達武将隊や伝統芸能の演舞、復元船建造の記録等の映写などを実施し、来館者数は2,062名となった。 ④石巻青年会議所により「エコキャップアート制作・展示」が開催され多くの親子が参加した。 ⑤令和2年度は実績なし。
事業の公共性、公益性	平成28年度から復元船の老朽化等に伴い乗船見学を禁止したことにより施設の展示内容が大幅に減少したことから、展望棟ロビーを活用した展示拡充や隣接するサン・ファン・パウティスタパークでの各種イベント事業により集客を図るとともにPRに務めた。		

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
①シンポジウム開催 ②企画・特別展開催 ③館長歴史講座開催 ④絵画コンクール ⑤体験学習の開催	①「牡鹿半島・海と浜の民俗学」としてシンポジウムを有観客で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により無観客で開催することとなった。収録した映像は「出帆記念文化祭」にてWEB上で公開された。 ②企画展として復元船を完成に導いた寶田直之助氏・村上定一郎氏の業績を改めて紹介するため、「匠-復元船サン・ファン・パウティスタ号をつくったふたり-」を開催し期間中には5,740名の来館者が入場した。また、特別展として「牡鹿半島・海と浜のトリビア10」を開催し牡鹿半島の歴史や人々の暮らし等を紹介し、地域の魅力を改めて確認する展示を行い、期間中4,383名の来館者が入場した。「牡鹿半島・海と浜の続トリビア10」のミニ企画展も開催した。 ③新型コロナウイルス感染症の影響により「サン・ファン歴史講座」の開催は中止することとなったが、講座として予定していた内容を報告書形式で発表した。 ④県内の小・中学校を対象に「絵画部門」・「デザインマーク部門」の2部門のコンクールを開催した。前年度、3部門178点の応募と比較し、今年度は272点の応募があった。 ⑤新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業規模を縮小し有観客で開催予定であったシンポジウムを無観客で映像を収録し「出帆記念文化祭」で公開と寶田直之助氏・村上定一郎氏の業績を紹介・牡鹿半島の歴史等を豆知識として紹介した企画展を開催し、多数の来館者が入場した。絵画コンクールについては「絵画部門」・「デザインマーク部門」の2部門の募集にしたところ昨年度以上の応募があった。また、「歴史講座特別編」として講座として予定されていた内容を報告書形式として本を作成し、慶長遣欧施設の意義とサン・ファン・パウティスタ号のPRに努めた。	①慶長遣欧使節帰国400年記念事業として式典及びシンポジウムを開催し、サン・ファン賛歌の演奏や朗読、「慶長遣欧使節の世界」をテーマにしたパネルディスカッションを行った。コロナ過での開催となり入場者の制限があったが、多数の応募があった。 ②4月～8月まで「帆船模型から見る世界船～Around The World～」を開催し様々な国の帆船模型を展示し紹介した。 ③新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 ④県内の小・中学校を対象に「絵画部門」・「デザインマーク部門」・「作文部門」の3部門行い178点の応募があった。 ⑤新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
事業の公共性、公益性	慶長遣欧使節団の目的が、我が国初の外交使節であるとの史実に加え、使節派遣の2年前に仙台藩を襲った「慶長大津波」からの復興もその要因の一つではないかと考えられることから、その慶長遣欧使節の歴史的実績並びに船舶及び海洋に関する調査研究・収集・展示を行うとともに海事思想の普及・啓蒙に努めた。		

9 市が期待する役割、市意見等 (担当部署記載)

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

# 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

団体名称	公益財団法人慶長遣欧使節船協会
------	-----------------

1 財務諸表（金額単位：円）

貸借対照表（B/S）	借方（科目）	令和元年度期	令和2年度期	前期増減	令和3年度期	前期増減
	流動資産		99,357,611	105,808,405	6,450,794	98,819,554
うち 現金・預金		97,390,417	92,660,818	▲ 4,729,599	97,301,350	4,640,532
固定資産		1,141,645,340	1,135,960,973	▲ 5,684,367	1,113,930,029	▲ 22,030,944
(1) 基本財産		1,136,987,700	1,128,437,794	▲ 8,549,906	1,105,874,300	▲ 22,563,494
(2) 特定資産		0	0	0	0	0
(3) その他の固定資産		4,657,640	7,523,179	2,865,539	8,055,729	532,550
資産の合計		1,241,002,951	1,241,769,378	766,427	1,212,749,583	▲ 29,019,795
貸方（科目）		令和元年度期	令和2年度期	前期増減	令和3年度期	前期増減
流動負債		10,290,966	21,451,729	11,160,763	19,729,770	▲ 1,721,959
うち 短期借入金		0	0	0	0	0
固定負債		0	0	0	0	0
うち 長期借入金		0	0	0	0	0
負債合計		10,290,966	21,451,729	11,160,763	19,729,770	▲ 1,721,959
正味財産		1,230,711,985	1,220,317,649	▲ 10,394,336	1,193,019,813	▲ 27,297,836
指定正味財産		1,136,987,700	1,128,437,794	▲ 8,549,906	1,105,874,300	▲ 22,563,494
うち 基本財産への充当額		1,136,987,700	1,128,437,794	▲ 8,549,906	1,105,874,300	▲ 22,563,494
うち 特定資産への充当額		0	0	0	0	0
一般正味財産		93,724,285	91,879,855	▲ 1,844,430	87,145,513	▲ 4,734,342
うち 基本財産への充当額		0	0	0	0	0
うち 特定資産への充当額		0	0	0	0	0
負債・正味財産の合計		1,241,002,951	1,241,769,378	766,427	1,212,749,583	▲ 29,019,795

正味財産増減計算書	科目	令和元年度期	令和2年度期	前期増減	令和3年度期	前期増減
	一般正味財産増減の部		▲ 1,764,967	▲ 1,844,430	▲ 79,463	▲ 4,734,342
経常増減の部		▲ 1,692,967	▲ 1,772,430	▲ 79,463	▲ 4,662,342	▲ 2,889,912
経常収益		204,442,028	209,287,355	4,845,327	194,256,941	▲ 15,030,414
経常費用		206,134,995	211,131,291	4,996,296	198,847,777	▲ 12,283,514
評価損益等計		0	71,506	71,506	▲ 71,506	▲ 143,012
経常外増減の部		▲ 72,000	▲ 72,000	0	▲ 72,000	0
経常外収益		0	0	0	0	0
経常外費用		72,000	72,000	0	72,000	0
一般正味財産期首残高		95,489,252	93,724,285	▲ 1,764,967	91,879,855	▲ 1,844,430
一般正味財産期末残高		93,724,285	91,879,855	▲ 1,844,430	87,145,513	▲ 4,734,342
指定正味財産増減の部		▲ 20,921,000	▲ 8,549,906	12,371,094	▲ 22,563,494	▲ 14,013,588
指定正味財産増減額		▲ 20,921,000	▲ 8,549,906	12,371,094	▲ 22,563,494	▲ 14,013,588
指定正味財産期首残高		1,157,908,700	1,136,987,700	▲ 20,921,000	1,128,437,794	▲ 8,549,906
指定正味財産期末残高		1,136,987,700	1,128,437,794	▲ 8,549,906	1,105,874,300	▲ 22,563,494
正味財産期末残高		1,230,711,985	1,220,317,649	▲ 10,394,336	1,193,019,813	▲ 27,297,836

（※）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。  
 ※財務諸表を添付すること。

## 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

	区分	令和元年度期	令和2年度期	前期増減	令和3年度期	前期増減
キャッシュ・フロー計算書（C/S）	事業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 29,004,643	40,674,350	69,678,993	▲ 5,219,263	▲ 45,893,613
	当期一般正味財産増減額	▲ 1,692,967	▲ 1,772,430	▲ 79,463	▲ 4,662,342	▲ 2,889,912
	キャッシュフローへの調整額	▲ 6,390,676	50,925,180	57,315,856	22,078,079	▲ 28,847,101
	指定正味財産増加収入	▲ 20,921,000	▲ 8,478,400	12,442,600	▲ 22,635,000	▲ 14,156,600
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
	投資活動によるキャッシュ・フロー	10,816,157	▲ 45,403,949	▲ 56,220,106	9,859,795	55,263,744
	投資活動収入	10,836,607	4,403,783	▲ 6,432,824	11,722,745	7,318,962
	投資活動支出	▲ 20,450	▲ 49,807,732	▲ 49,787,282	▲ 1,862,950	47,944,782
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
	財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0	0	0
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
			0		0	
現金及び現金同等物に係る換算差額			0		0	
現金及び現金同等物の増減額	▲ 18,188,486	▲ 4,729,599	13,458,887	4,640,532	9,370,131	
現金及び現金同等物期首残高	115,578,903	97,390,417	▲ 18,188,486	92,660,818	▲ 4,729,599	
現金及び現金同等物期末残高	97,390,417	92,660,818	▲ 4,729,599	97,301,350	4,640,532	

（※1）支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

（※2）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

### 2 市による財政・金融支援等（金額単位：円）

	区分	令和元年度期	令和2年度期	前期増減	令和3年度期	前期増減
	補助金（交付金・助成金・負担金）	0	0	0	0	0
	事業費補助金（交付金・助成金・負担金）	0	0	0		0
	管理費補助金（交付金・助成金・負担金）	0	0	0		0
	委託料及び指定管理料	39,543,450	39,455,163	▲ 88,287	39,491,019	35,856
	借入金（期末残高）	0	0	0	0	0
	短期借入金	0	0	0		0
	長期借入金	0	0	0		0
	出資・出捐（期末時）			0		0
	債務保証額（期末残高）			0		0
	損失補償額（期末残高）			0		0
	その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）			0		0
				0		0

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。  
 ※財務諸表を添付すること。

# 情報公開シートⅡ 補足資料

法人名：公益財団法人慶長遣欧使節船協会

## 1 貸借対照表に関する補足

### (1) 総括分析

投資有価証券の期末時価の減額と、令和2年度、帰国400年記念事業の関係で宮城県からの受託金の未収金があったが、令和3年度は受託金がなくなり未収金が減額した。

### (2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容 (単位：円)	変動要因
流動資産 未収金	11,686,691減	上記総括分析のとおり
固定資産 投資有価証券	22,635,000減	国債の期末時価評価額の減少
正味財産	27,297,836減	「2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足」のとおり

## 2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

### (1) 総括分析

令和2年度、帰国400年記念事業として式典・レセプションなどを行ったが、令和3年度は、例年行われている「絵画コンクール」・「企画展」・「イルミネーション」などを行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、「歴史講座」に関しては報告書形式で書籍化することとなり、「サン・ファン祭り」・「出帆記念祭」・「シンポジウム」に関しては「出版記念文化祭」としてオンライン開催とし合同で行った。また、8月～9月の緊急事態宣言の影響や設備の修繕の関係で2月を臨時休館としたため、令和3年度の入館者数は14,234名（前年度の52.2%）となった。帰国400年記念事業関連とコロナ対策のレンタル料などがなくなり以下のとおり金額が減額している。

### (2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容 (単位：円)	変動要因
経常収益	事業収益 指定管理者事業収入	1,941,590減 臨時休館対応に伴う宮城県分指定管理料減額による減少
	事業収益 利用料金収入	1,892,050減 新型コロナの影響に係る臨時休館や事業縮小に伴う入館者数減により減少
	事業収益 グッズ事業収入	1,475,126減
	事業収益 宮城県受託金	9,491,220減 前年度受託業務（記念事業及び記録誌作成業務）終了による減少
経常費用	事業費 使用料及び賃借料	1,554,845円減 前年度のコロナ対策関連のレンタルがなくなったことによる減少
	事業費 委託費	10,416,418円減 前年度の帰国400年記念事業終了による減少
	管理費 印刷製本費	5,849,735円減 前年度の30年史作成業務終了による減少
	管理費 委託費	881,299円減 前年度のレセプション業務終了による減少
指定正味財産期末残高	22,563,494減	国債の期末時価評価額の減少

## 情報公開シートⅡ 補足資料

### 3 キャッシュフロー計算書に関する補足

#### (1) 総括分析

令和2年度は、帰国400年記念事業、復元船展示の最終年度、協会設立30周年事業として例年では行われな  
いイベントを行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、規模の縮小と中止ということもあったが盛大  
に行ったため、令和3年度の未収金、未払金はその関係で増減が大きく変動している。また、令和2年度は定  
期預金を解約し新たに国債を購入したが、令和3年度は購入していない。そして、国債については評価額が  
年々減少傾向にあることから期末時価評価額が大幅に変動した。当館は令和4年度秋頃から、休館となる予定  
であり当年度と翌年度につきましては金額が大幅に減少すると思われる。

#### (2) 数値が変動した区分及びその要因

項 目	変動内容 (単位：円)	変動要因	
キャッシュフローへの 調整額	未収金の増減額	23,391,627増	前年度事業の未収金回収により増加
	未払金の増減額	12,074,863減	前年度事業の未払金支払いにより減少
	その他	39,666,667減	前年度期記念事業等終了に伴い前期比で減少
指定正味財産 増加収入	基本財産増加収入	14,156,600減	期末時価評価額の減少幅が前期に比べ大きかったことにより減少
投資活動支出	基本財産取得支出	45,338,882増	有価証券を購入していないため前期比で増加

### 4 市による財政・金融支援等に関する補足

#### (1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位：円)	補助金の使途

#### (2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料(単位：円)	委託業務の内容
サン・ファン・パウティスタ パーク管理運営	39,491,019円	指定管理業務

#### (3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由

# 市が期待する役割・市意見等（別紙）

法人名：公益財団法人慶長遣欧使節船協会

担当部署名：産業部観光課

## 1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

### （1）中間的な経営目的・事業計画

平成25年11月3日に再開館したが、平成28年3月より、復元船の老朽化のため乗船見学が中止となり、令和3年3月31日で現復元船の公開を終了した。  
また、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響等により入館者数、売上が減少していること、及び、令和4年秋ごろから、令和6年度まで閉館となることを考慮したうえで、令和3年度の入館者数・売上高をベースとし、中期的な視点で事業計画及び目標数値を定められたと考える。

### （2）主要事業の成果、課題

復元船の解体及びミュージアムの改修工事等により、集客面での課題はあるが、進水28周年記念イベントの開催、スマホWEBサイトの充実、VRコンテンツの制作等により、観光客の利用促進を図る。  
また、令和4年度はミュージアムが改修工事のため休館となることから、再開する令和6年度まで、パークを活用したイベントや企画展の実施等の効果的な誘客戦略を検討する必要がある。

## 2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）に対する意見

### （1）貸借対照表

株式有価証券の期末時価の変動による減少は見られるが、問題ないと思われる。

(2) 損益計算書又は正味財産増減計算書

令和2年度に実施された協会400年記念事業等による委託費、印刷製本費の増額分が減少しているが問題ないと思われる。

(3) キャッシュフロー計算書

期末時価評価の減少及び昨年度に購入した有価証券分の減少がみられるが問題ないと思われる。

(4) 市による財政・金融支援等

石巻市サン・ファン・パウティスタパーク指定管理料として支出している金額であり、今後も年度協定で定められた指定管理料において適正かつ効果的・効率的な運営に努められたい。

3 法人に対し市が期待する役割等 (担当部署所感)

慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的事跡並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供し、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与する目的を果たす上においても、市民が参加しやすい企画・イベント等の創意工夫を重ね、ひいては入館者数の増加につながるよう期待したい。

また、現サン・ファン・パウティスタ復元船の解体及び1/4スケール復元船の作成、ミュージアムの改修事業完了後は、各関係団体と積極的に連携を図りながら、地域の振興に資する各種事業を実施し、歴史・文化・国際交流の観点から、さらなる観光客の誘致を図り、地域の振興に寄与することを期待する。